

小地域福祉活動連絡会グループワーク詳細意見

10月26日(火)

- ・昨日7か月ぶりにサロン再開することができた。参加者は再開を待っていた方が多く20名程集まった。
 - ・元々サロンをつくったきっかけは3.11で10年経つ。それまではエレベーター等でしか顔を合わせたりする機会がなかったがお互い気に掛ける関係になれた。
 - ・サロンの内容は出前講座で無料講座をしてくれる講師を招く勉強会が多い。
 - ・今回再開する際は、役員で集まり検討したというよりは代表の声かけがきっかけとのこと。メールを使い参加者で意見交換をしている。
 - ・緊急事態宣言中もエレベーターやスーパー等で顔を合わせることで見守り等にもなっていたが、今回サロンを再開することができて改めて人と顔を合わせて話すことの嬉しさを感じた。
-
- ・コロナ前は春、秋に飲食を伴う集まる活動を行っていた。
 - ・コロナ禍は基本的に人が集まる活動は何もしていない。
 - ・現在感染状況が落ち着いているが油断できないと思いサロン活動はまだ実施していない。
 - ・町会の活動として10/17に八広地域プラザを借りて防災訓練を実施した。(区・消防・プラザ協力のもと)140名集まった。
 - ・コロナ前から行っている夜間パトロールは緊急事態宣言が明け再開している。直接関わることはせず非接触型で地域を見守っている。
 - ・役員会はできていないが、月に1回幹部会を実施し方針等を話し合っている。
- サロンや集まりとしてはまだ再開に至っていないが、”しない”という判断をすることができた。
- ・サロン自体は開催すればみんな楽しみに来てくれる。敬老の日にお祝金を渡したりすることで状況確認の場になっている。今は家族葬が多く、亡くなっても知らないことも多々ある。
-
- ・コロナ前は講座等色々実施していたが、使用している部屋の広さの問題や人数制限をすることの難しさを感じている。(下町ということもあり、声をかけた人・かけていない人がいるとトラブルのもとにもなり兼ねないことを懸念。)
 - ・上記の問題により外での活動を計画したが、急激に感染者が増え開催には至らなかった。
 - ・老人会に声をかけてふれあいサロンを実施したいと考えたが、老人会自体活動ができていない状況だった。
 - ・2部制にしての活動も検討したが、その分時間もかかり人が取られる問題もある。

- ・役員会は実施することができた。
 - ・11/7に防災訓練実施予定。120名参加予定。杖の方でも車椅子の方でも参加してほしいと促しをしている。
- 実施できなかつたことが多かつたが、みんなで気持ちをひとつにして判断することができた。みんなで何かをすることの楽しさを感じた。防災訓練に来てくれた時に心配な方の見守りもできる。コロナ禍だからこそ気付けたことも多々あった。
- ・民生委員から米寿祝等もしており、その際に様子確認の場になる。今年はコロナ禍のためか活気がない方が多く心配な方を把握することができた。対面の大切さを感じた。
-
- ・タバコと寝具の商売をしている。店頭で小学生等地域の方が立ち寄っている。午前中、午後でそれぞれ3~4人程度立ち寄ってくれる。
 - ・特に小学生が多く、親がいない子には気に掛けている。少しずつ話をしてくれるようになっていく。